

令和8年度 通信教育実施計画

松陰高等学校（本校／各学習センター）					
教科	科目	単位数	履修上の留意点		
地理歴史	世界史探求	4	選択科目		
指導目標	(1)世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2)世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3)世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。				
	教科書	副教材等	添削指導	面接指導	
	世界史探求			12回	4単位時間
	多様なメディアを利用した学習による 面接指導時間数の減免実施の有無	☐ 実施している ☒ 実施していない	多様なメディアを利用した学習による減免後の面接指導時間数	該当なし	
添削指導（レポート）					
回	学習内容		対応する 面接指導の回	提出期限	
1	なぜ世界史を学習するのかについて、私たちの生活に欠かせないお茶の歴史をたどり理解する。地球と人類の誕生について、現生人類に直接つながる新人はどのように地球全体に拡散したのか理解する。東アジアにめばえた古代文明について、黄河文明はどのような原理をもとにして体制を支えようとしたのか理解する。		1	5月13日	
2	古代末期の社会と地中海世界の解体について、ローマ帝国の政治、社会、宗教がその後のヨーロッパや西アジアにどのような影響を与えたのかを理解する。		1	5月13日	
3	東アジアと中央ユーラシアの古代国家形成について学び、古代国家の誕生と発展が社会や文化に与えた影響や、それによって生み出された地域の特色について考える。また、交易や思想・文化が国家形成とどのように関係しているのか考える。		1	6月6日	
4	アフリカ、オセアニア、古アメリカの文明について学び、ユーラシア大陸以外に成立した文明について、自然環境とのかわりにも注目し特徴を考える。イスラーム世界の拡大と繁栄について、その流れを学び、東西7000kmにも及ぶアジア・アフリカの広大な地域が一つの文明圏としてまとまった理由を考える。		2	6月6日	
5	中世ヨーロッパについて学習し、9世紀から15世紀にかけて、ヨーロッパ社会ではどのような政治、経済、社会、文化の変動がおこったのかについて考察し、それらの変動の結果は後世のヨーロッパにどのように継承されたのかを理解する。		2	7月4日	
6	インド洋海域世界の発展と東南アジアについて学び、インドと東南アジアにおけるイスラームの広がり方の地域差と、その要因について考える。大交易時代と世界の一体化について理解し、大交易時代に、なぜ世界の各地で社会がほぼ同時に変化し、世界の諸地域間の関係は、前後の時代と比べてどのように特徴づけられるのか考える。		2	8月8日	
7	ユーラシア諸国の繁栄について学び、16世紀から18世紀にかけて、アジア諸地域に成立した諸地域が比較的稳定した社会を維持できた理由や、その経済的繁栄がどのようににもたらされたのか考え、理解する。		3	10月21日	
8	19世紀から20世紀にかけ、科学技術の飛躍的発展、工業化の進展とともに、イギリスを先頭に自由貿易が展開するなか、人、もの、情報の動きが活発化し世界が密接に連動していくようすを理解し、それについて多様な面から考察する。		3	10月21日	
9	世界市場の形成とアジア諸国の変容について学び、産業革命で先行したイギリスが19世紀半ばに自由貿易体制を推進したのに対し、後発のヨーロッパ諸国がどのように対応したのか、またヨーロッパ発の工業化の波はアジア諸国に何をもたらしたのかを理解する。		3	11月11日	
10	国際協調体制の動揺と第二次世界大戦について学び、アメリカに端を発する世界恐慌は、経済や政治をどのように変化させたのか、またそのなかで台頭したファシズム国家によってひきおこされた第二次世界大戦の推移は、戦後の国際秩序の再編にどのような影響を与えたのかを理解する。		4	11月11日	
11	冷戦の世界化と国際制度について学び、冷戦のもとで、世界の平和はどのように模索されたのか、また、世界に広がるなかで冷戦は、それぞれの地域でどのような意味をもったのか考え、理解する。		4	12月5日	
12	冷戦の変容・終結と経済のグローバル化について学び、冷戦の変容にともない、アメリカ合衆国の経済覇権はどのように動揺し、またその後生じた経済のグローバル化は何を契機におこり、世界経済をかえていったのかを考え、理解する。		4	1月20日	
面接指導(スクーリング)					
回	単位数	学習内容	実施場所	実施日	
1		世界史を学ぶとはどういうことか、諸地域の歴史的特質について学ぶ。また、西アジアと地中海周辺の国家の共通点を理解し、南アジア地域を特徴づける「多様ななかの統一」とは具体的にどのようなことか学習する。	各学習センター	5月	
2		ユーラシア大陸以外の地域に成立した文明の特徴について、自然環境との関わりについて考察する。8世紀から15世紀にかけて、ヨーロッパではどのような変動が起こり継承されたのかについて学習する。	各学習センター	7月	
3		16世紀から18世紀にかけて、諸帝国が安定した社会を維持できたのはなぜか考察する。またその特徴や要因について学習する。その後、産業革命や国民主体で国家を建設する動きが広がったのはなぜか学習する。	各学習センター	10月	
4		工業化の波はアジア諸国に何をもたらしたのかを学習する。また、欧米列強と対峙しながらいかに改革を進めたのか、「世界大戦」は戦争とどのような点が異なるのか学習する。	各学習センター	12月	
多様なメディアを利用した学習					
計画段階では実施予定なし					
試験					
回数	試験範囲		実施場所	実施日	
1	レポート1～6		各学習センター	9月	
2	レポート7～12		各学習センター	2月	
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準					
添削指導、面接指導、試験の結果を総合的に評価する。					
所定の添削課題の提出、面接指導の受講、試験の受験を満たし、学習成果が認められる場合に単位を認定する。					
その他					
各学習センターでは、本校の通信教育実施計画及び指示に従い実施する。施設状況や生徒の状況等に応じて日程・実施方法を調整する場合も、本校の承認又は指示のもと、指導内容・評価・単位認定基準に変更が生じない範囲で対応する。					